

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

と う ん
稲雲

令和6年度 第18号

令和7年1月31日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○自分の命を自分で守るために

1月14日(火)は3・4年生、23日(木)は5・6年生を対象に「防災出前講座」を実施しました。福島県庁から講師の先生をお招きし、いざという時に自分の命を守るために何ができるのかについて考えました。地震や津波が発生した時の疑似体験も行いました。受講後の感想に、「実際に起きたときには今日学習したことを生かしたい。」と書いている児童がたくさんいました。災害はいつどこで起こるかわかりません。だからこそ、普段から準備をし、たくさんの知識を身に付けておくことが大切なのだと思います。



【3・4年生の様子】

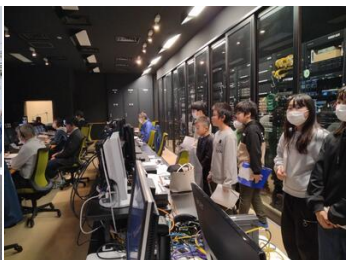


【5・6年生の様子】

○5年生が「企業見学」に行ってきました

1月16日(木)に、5年生が「企業見学」で、「福島テレビ」と「森永乳業」へ行ってきました。「福島テレビ」では、普段テレビの画面越しに見ているスタジオを見学したり、気象予報士やアナウンサーの方から、番組制作で大切にしていることを聞いたりしました。「森永乳業」では、福島工場で製造している商品を教えていただいたり、貯蔵庫のマイナス25度という温度を体験したり、アイスを試食させていただいたりしました。

どちらの企業さんも、より良いサービス、情報や商品を提供するために、多くの努力をされていることを学ぶことができました。



○幼稚園に交流訪問に行ってきました

1月17日(金)に、2年生が稲田幼稚園に行き、一緒に手遊びやドッジボールをしたり、探検をしたりしました。自分たちも数年前まで幼稚園で過ごしていたことを思い出しながら、幼稚園児に優しく接していました。そして、自分たちがとても大きくなったことを改めて実感した様子でした。



○消防署と警察署に行ってきました

1月20日(月)、3年生が市の研修バスを使って、須賀川市の消防署と警察署に行ってきました。市民の安全を守るための仕事の内容、消防車や救急車、パトカーについての説明を聞いてきました。帰校後には、ほとんどの児童が「楽しかった!」、「たくさん勉強した!」という感想を伝えてくれました。12月に岐阜県の消防士さんとオンラインで事前学習をしたこと、そして実際に見たり聞いたりできたことが、3年生の多くの学びにつながったと思います。



○「いなレク」じゃんけん大会が開催されました

1月24日(金)の昼休み、児童生徒会主催の「いなレク」が開催されました。1年生から9年生までの児童生徒が体育館に集まり、児童生徒会長とじゃんけんをして、最後まで勝ち残った人がいる学級に得点が与えられるというルールで開催されました。じゃんけんの結果に喜んだり、悔しがったりと参加者全員が楽しむことができた様子でした。第1位が3年生、第2位が1年生、第3位が7年生という結果になりました。この企画は、児童生徒会役員が参加者に楽しんでもらうために企画したもので、こういった経験を通してリーダーとしての資質を高め、さらに成長して行ってほしいと思っています。



○社会のしくみについての理解を深めました

1月27日(月)に、福島県県中地方振興局県税部から講師の先生をお招きし、9年生が「租税教室」を行いました。「もし税金がない社会になったらどうなるか」についてDVDを見ながら考えました。また、橋を作るとしたら、年収によってそれぞれがどのくらいの費用を負担するかなど、グループで考えました。教育をはじめとする多くの公共サービスが、税金によってまかなわれていることを学びました。



随 想

「子どもたちの学び」を支えるもの

私は、大学3年生の時に初めて「勉強が楽しい」と感じました。だから、大学4年生の時もほぼ毎日大学に通っていました。私たちの世代は今と違って、4年生で大学に通うのは週に1日くらいだったので、周囲の友人からはとても珍しがられました。大学を卒業せずに、このまま大学で勉強したいと思ったほど楽しかったのです。

「知的好奇心は、人類に与えられた根源的欲求である。」という言葉があります。本校で学ぶ子どもたちはとても楽しそうで、「わからないこと」や「疑問に思ったこと」について、すぐに質問する子どもがたくさんいて、この言葉が本当なのだと感じさせてくれます。そして、私にも「知的好奇心」はあったはずなのに、どうして勉強が楽しくなかったのだろうと考えました。振り返ってみると、「いい点数を取らなければ…」、「〇〇に負けたくない」、「答えはこれでいいのか不安だ。」など、結果ばかりを気にすることが多く、「もっと知りたい!」、「どうすれば解けるんだろう?」のような、学ぶことの「楽しさ」につながる経験は少なかったように思います。

今、子どもたちには「多様な学び」をする場所があり、たくさんの体験を通して学ぶことができるようになっています。そして、「学びたい」という思いがあれば、自分の力でどんどん学ぶこともできます。子どもたちが「知的好奇心」を満たしながら、「学ぶ楽しさ」を味わい、夢につながる未来を切り拓くことを願っています。

本校の先生方も、子どもたちが楽しさを感じながら学べるように、授業改善に取り組んでいるところです。